

3 本時案③【活用場面①】（5時間目／7時間中）

(1) 本時のねらい

- ・ゴールにボールを持ち込むために味方にボールを手渡したり、パスを出したりすることができるようにする。
- ・簡単な作戦を選ぶことができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・ゴールにボールを持ち込むために味方にボールを手渡したり、パスを出したりすることができる。(知識・技能)
- ・簡単な作戦を選んでいる。(思考・判断・表現)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ	1 挨拶、健康観察、準備運動 2 補助運動 3 本時のめあてと評価項目の確認	
	めあて 簡単な作戦を選び、ゴールにボールを持ち込むために味方に手渡ししたり、パスを出したりしてゲームをしよう 評価 ・ゴールにボールを持ち込むために味方にボールを手渡したり、パスを出したりすることができる。(知識・技能) ・簡単な作戦を選んでいる。(思考・判断・表現)	
15分	○本時のめあてと評価項目を確かめ、パスやボールを持たないときの動きのループリックを考え、それを基に自分にあつためあてを選ぶ。 ・パスをルールに加えることを知らせ、前時までに見られたボールを持たないときのよい動きを紹介する。必要に応じて映像で説明する。 ・出された動きを児童が感じている難易度を基に整理し、ループリックとして位置付ける。 ・ループリックを整理できたら、それを基に自分のめあて(作戦)を選ばせ、互いの作戦をペアで共有し、ペアで作戦を決めさせる。	<u>おおむね満足</u> (ワークシート) 簡単な作戦を選んでいる。 <u>十分満足</u> 新たな作戦を考え出している。 <u>努力を要する児童への手立て</u>
なか 25分	4 活動Ⅰ 2対2 ○自分たちの作戦を意識しながら2対2を繰り返し、動きをよくする。 ・児童を2つの場に分け、2対2に取り組みさせる。その際「めあての確認→試す(攻め)→振り返る」をペアで繰り返して取り組みさせる。うまくいかない場合は、ループリックを基にめあてを変更してよいことにする。 ・見る側の児童は、攻め側の友達のよい動きを見付け、付箋に記入し、全体のホワイトボードに貼り、全員で共有できるようにする。 5 活動Ⅱ 4対4 ○活動Ⅰで試したこと等を生かしながら4対4のゲームに取り組む。 ・「チームタイム(作戦の確認:30秒)→ゲーム(作戦を試す:2分)→チームタイム(試したことの振り返り:45秒)」を3回行う。その際、互いの考えを認めながら活動できるように促す。 ・コート数を増やす等全員がゲームに参加できるようにする。 ・ゲーム前後の挨拶、フェアプレー等の確認をゲームのたびに行う。	・考えられる作戦を提示し、自分が動きやすそうな作戦は何かを個別に尋ねる。 <u>おおむね満足</u> (<u>観察</u>) ゴールにボールを持ち込むために味方にボールを手渡ししたり、パスを出したりすることができる。 <u>十分満足</u> フェイントを入れる
まとめ 5分	6 本時の振り返り ○本時の学習を振り返り、共有する。 ・ワークシートに記入させ、ペアやチームで互いに伝えるようにする。 ・フェイントを入れる等工夫してパスをしたり、手渡ししたりしている児童、新たに作戦を考えている児童を称賛し、望ましい姿を広げる。 7 片付け、整理運動、健康観察、挨拶	等工夫してパスをすることができる。 <u>努力を要する児童への手立て</u> 味方にボールをもらいに来させる等パスをしやすくさせる。

〈第5時のループリックの例〉

【パスに関すること】

- 手渡しをする
- 止まったままパスする。
- 移動しながらパスする。
- 近くで味方がとりやすいパスをする。
- 遠くの味方にとりやすいパスをする。（味方を1人スルーなど）
- フェイントを入れてこれらのパスをする。

【ボールを持たない動きに関すること】

- ボールを持っている人の後ろをついていく。
- パスをもらえるように近づく。
- 広いスペースを見つけて走り、パスを呼ぶ。
- (4対4) 持っていない人とポジションチェンジしてディフェンスのマークをずらす。
- (4対4) 他の持っていない人と同時に動き、パスをもらいやすい位置に行く。
- (4対4) 1人目の友達に付いていき、パスをもらおうとする。

〈ループリック作成の留意点〉

- 問いかけながら発言した子供の考えを明確にし、全員がわかる言葉で位置づける。
- めあて（その時間に付けたい力）に合わせて整理し、位置付ける。めあてから逸れている意見についても＜知識及び技能＞＜思考力、判断力、表現力等＞＜学びに向かう力、人間性等＞の3つに合わせて整理し、できるだけ位置付けるようにする。
- 前時までの学びとつなげる等単元をとおして位置付ける。
- 必要に応じて回数等を入れる。ただし、回数等にとらわれすぎず、動き等の質の高まりを意識できるようにする。

〈ワークシートの例〉（第5時）

○ゴールにボールを持ち込むために、味方にパスをしたり、手渡しをしたりすることができましたか。

- () 何度も手渡しすることができた。
- () 一度は手渡しすることができた。
- () 一度も手渡しすることができなかった
- () 何度もパスすることができた。
- () 一度はパスすることができた。
- () 一度もパスすることができなかった

○味方にパスしたり、手渡ししたりするために気を付けたこと等を詳しく書きましょう。

()

○うまくパスをしたり、手渡ししたりしている友達を書きましょう。また、そう思ったわけを書きましょう。

頑張っていた友達 () そのわけ ()

○作戦を選んだり、新たに考えたりすることができましたか。

- () 新たに考えることができた () 選ぶことができた () 選べなかった

○新たに考えた作戦について詳しく書きましょう。

()

◆授業の感想、気付いたこと、学んだこと等を詳しく書きましょう。

()